

## 目次

■巻頭言	田澤元泰	1
■平成十七年度法華経・日蓮聖人・日蓮教団論研究セミナー（公開講座）		
お寺は生き残れるか―経済学の視点からみる存在意義と将来の展望―	中島隆信	6
■研究ノート		
三好達治の詩からみた戦争責任と平和憲法	田澤元泰	31
『南海寄帰内法伝』にみる医療観―義浄三蔵がみたナールンダ僧院の医療―	影山教俊	45
『立正安国論』における戒律思想	小瀬修達	76
『何でもありの現代社会』―寺院・僧侶の役割を取り戻すには―	川名湛忍	108
宗門と国家Ⅱ―田中智学と帝国日本―	野村佳正	118
日蓮宗の戦前大陸・樺太での布教について―宗会審議と予算を中心に―	坂輪宣政	125
■研究・調査プロジェクト報告		
教団・教化プロジェクト		
過疎地寺院対策一考察	原顕彰	148
現代社会プロジェクト		
『不都合な真実』から見えてくるもの―地球温暖化問題の問題を考える―	梅森寛誠	165
宗教的生命倫理の六原則についての解説	牟田口義隆	178
■調査報告		
妙満寺伝承塚原三昧堂跡と日蓮正宗建立塚原跡碑の調査報告	小瀬修達	187

■第8回日蓮宗教化学研究発表大会

宗教的情操を獲得する過程について―唱題行による意識変容の研究から―……………影山教俊……………237

宗祖の母・梅菊「畠山重忠有縁説」の一考察……………石川修道……………254

念（今の心の在り方）を考える……………竜澤泰孝……………297

仏教学と教化―研究者と宗教者……………大乘文晴……………312

「千の風になって」の教化学的考察―そのスピリチュアリズム的側面……………伊藤立教……………325

『六巻抄』の構造と問題点（五）―「依義判文抄」を通して（その一）……………早坂鳳城……………339

大地動乱の時代を迎えて、原発との「共存」を強いられる私たちは……………梅森寛誠……………346

日蓮聖人の御遺文と地球温暖化……………三谷祥禰……………354

宗立学寮に関する覚え書き……………菅野龍清……………371

〈但行礼拝〉考……………高佐宣長……………379

納得できる平和運動とは何か？―立正平和運動の再生に向けて……………三好龍孝……………393

■ミニ講演

宗教者が平和運動を行う意味―グローバル化と善悪の不透明化……………宮台真司……………424

宮崎県の富士門流について……………黒木報源……………481

■第40回中央教化研究会議報告

講演『正しさ』の不可能性と現代宗教―現代における宗教の存在意義と宗教者の役割……………宮台真司……………493

パネルディスカッション…………………………530

全体会議（分科会報告）…………………………559

■久住謙是師を偲ぶ	伊藤立教
■平成十九年度日蓮宗現代宗教研究所彙報	577
研究員・顧問・嘱託名簿	579
人    事	581
研究・調査分担	583
事業報告	586
平成二十年度事業計画案	597
■編集後記	600
■執筆者一覧	603